

平成26年度 「確かな学力」実践研究事業

学級活動 公開授業・授業研究会

授業者 伊勢崎市立あずま中学校 木暮 直隆 教諭
平成26年10月21日(火) 第2学年



学級活動(1)「学級や学校の生活づくり」において、各自が意見を出し合い、異なる意見にも耳を傾け、折り合いをつけて、集団決定する授業を公開しました！



2年3組集団決定の軌跡

40名を超える参加者によって、授業参観後の研究会では熱心な協議が行われました。

※折り合い…意見のよさを合わせたり、条件をつけて賛成したりして、合意形成を図ること

【題材】「目標とする学級をつくるために、合唱祭までの残り10日間でやることを決めよう」

【本時のねらい】

目標とする学級をつくるために、スローガンに基づいた合唱祭の取組の中で、合意を形成し、それに基づいた実践を通して、学級への所属感や連帯感を深める。

【伸ばしたい資質・能力】

- ・活動計画書をもとにして、生徒主体で話し合いを進める方法の理解
- ・理由を明らかにしながら、他者の意見を容認し、折衷案や合体案などの考えを発表していくことができる力

【提案する手立て】《指導プランP131「計画委員会等の充実」、P129「集団決定の仕方」》

～生徒主体で、折り合いを付けながら集団決定する工夫～

- ・担任と計画委員が事前に活動計画書を作成し、進め方の準備をする。
- ・安易な多数決にならないように、賛成・反対の理由を明確にする。
- ・アドバイスシートを用意し、意見の発展・統合の支援をする。



授業の様子

1. 計画委員の紹介 《「系統性と継続性のある指導のために」 指導プランP131、実践の手引きP142》



司会グループ ※輪番制
(司会・書記・計時)

2. 議題と話し合いの確認

【議題】

目標とする学級をつくるために、合唱祭までの残り10日間でやることを決めよう！



3. 話し合い活動

① 出し合う場面

事前にみんなから出された意見を計画委員でいくつか絞りました。

事前に意見を「やる活動」「つくる活動」に分けて集約。授業前に短冊にまとめて掲示。

【やる活動】

- ・ビデオをとって悪いところを直す。
- ・パートごとに歌を聞き合う。
- ・他学年、他クラスに歌を聞いてもらう。

【つくる活動】

- ・パートごとに目標をたてる。
- ・アドバイスを書く。
- ・一人一人の目標を書く。
- ・歌詞にポイントを書く。



出された意見に対して賛成の人は手を挙げてください。



【それぞれの意見に賛成の理由】

- ・悪いところをいつでも見ることができる。
- ・自覚をもって積極的に取り組める。
- ・パートごとのよさもわかる。
- ・いつもと違うアドバイスをもらえるのでいい。

② 比べ合う場面



他学年やクラスとの合唱の聞き合いについて意見をください。

時間をとるのが難しいと思います。(最初は反対)



お互い聞き合うのはよいこと。時間がとれないのを理由にやらないのはよくないと思う。

合唱祭全体のためによいという意見を聞いて、やるべきだと思いました。

指導プラン P129

折り合いをつけた意見



授業の様子

先生が行った支援



話し合いが進まないときに、ホワイトボードをつかって助言。

一人一人の目標は何に書くのか確認した方がいいのでは・・・



司会への助言

③決める場面



パートリーダーが中心で進めていくのでよいですか。

他のクラスに頼みに行くのは僕がします。



決まった事の確認

【やる活動】

- ・ビデオをとる
- ・歌を聞き合う

【つくる活動】

- ・アドバイスを書く
- ・目標を書く



4. 先生の話



司会グループはよくやってくれました。協力してくれた人、意見が言えた人、全員に拍手をしましょう。

5. 振り返り

学級会ノートに振り返り、発表した。



【授業研究会での意見】

<よかった点>

- ・活動の役割が決められ、学級会のやり方が定着していた。
- ・事前の活動計画書から生徒と創り上げていることが主体性のある活動となった。
- ・輪番制の司会がよい。
- ・指名してすぐに発言できる。前に出た発言者の意見を踏まえた意見が言える。

<改善点>

- ・事前に内容を絞っておいたのはよかったが、反対意見が出る工夫も必要だった。
- ・担当者まで決まったが、いつ、どこで、何回など、より具体的に決められるとよかった。
- ・考えの意図を確認する場面も必要。ねらいを明確にし、生徒に合唱祭のスローガン等もっと意識させたい。



【参加者の感想】

- ・課題の出し方、集団決定の方法、実践へのつなぎ方など、研究会で意見交流することで大きな学びとなった。
- ・生徒に任せつつも、アドバイスシートを渡すなど、教師も関わる工夫が見られた。
- ・4月の目標づくりから生徒主体で話し合えるよう育てておくことが大切だと思う。
- ・事前の活動がしっかりしているため、生徒が話し合いの流れを理解していた。
- ・学校全体で取り組んでいることが素晴らしいと思った。

【生徒の振り返り】

- ・いろいろな意見が出ていたが、それを聞きながら自分なりの答えをもてた。
- ・一人一人がしっかり意見を発表していた。
- ・発言ができなかったが、次は発言できるようにしたい。

【授業者の感想】

- ・引き続き、話し合い活動を充実させ、3年生になったら、もっと自治的、自発的に話し合いができる生徒を育てていきたいです。

